

# 日本共産党 大津市会議 員団ニュース

2022年  
5・6月号

No.218

大津市御陵町3-1(市役所内)  
TEL 528-2842 Fax 524-5613

大津 共産党

検索

## 市民の願い実現へ 新年度もダッシュ!

5月19日、今年度の大津市議会が招集されました。コロナ禍の爪痕は深く、物価高騰が大津市にも襲いかかっています。日本共産党市議団は、気持ちも新たに、市民を守るため全力で取り組みます。

2022年度議会の所属委員会 ◎委員長、○副委員長			杉浦	教育厚生 常任	ゼロカーボン シティ推進対 策特別◎
林	生活産業 常任	公共施設対策 特別	立道	生活産業 常任○	ICT活用対策 特別
柏木	総務常任	公共施設対策 特別	小島	施設常任	ゼロカーボン シティ推進対 策特別



ジェンダー平等を

誰もが自分らしく生きられるように！県議団と宣伝・対話に取り組みました(28日、膳所駅前)

5月1日メーデー。「8時間働けばついに暮らせる社会へ」党市議団も声を合わせました。



滋賀県民メーデー

毎年恒例、憲法記念日に穀田衆院議員(写真左)が大津で訴え。参議院選挙では、戦争する国づくりか9条に基づく平和な日本、そして25条(生存権)を生かして「自己責任」政治を転換することが問われていると強調しました。

石堂予定候補も、平和をぶれずに貫く日本共産党を伸ばして!と訴えました。

### 憲法記念日街頭宣伝



日本共産党の躍進で  
憲法まもろう

写真提供：滋賀民報社



市に要請する党市議団

### 物価高騰 ますます深刻

#### 党市議団が緊急要望

## 先行き見通せる支援打ち出せ

活を救済で  
きるもので  
はありませ  
ん。

党市議団  
は、物価の

高騰から市民を守る16項目の緊急対策を、市に要望。国にきっぱりものを言うとともに、独自の支援にただちに取り組みことを求めました。

政府に対しては、消費税引き下げ、賃上げ、年金減額の撤回などの声を上げることを要求。市の取り組みとして、

燃料費補助など事業継続のための直接支援や、人命を守るために生活保護費への夏季加算を行うこと、給食費を値上げせず質を維持することなど示し、全庁をあげて市内の実情をつかみ、市民を救えと求めています。

今年度は約8億円の臨時交付金が国から措置されます。議会での追及とも合わせ、実効性、即効性のある対策の実現に力を尽くします。

※ホームページに要望の全文を掲載しています。

### 今年度の国保料決まる

モデル世帯(親子3人、所得200万)で35万円

5月13日に開かれた大津市国民健康保険事業の運営に関する協議会で、今年度の保険料が示

されました。モデル世帯(40歳夫婦子ども1人所得200万円)で35万2040円と、昨年度から4180円減となりました。しかし、県が示した標準保険料よりも高く、モデル世帯で所得の17%以上の負担となっています。

市は、今年度の保険料算定について、先行きが不透明なこともあり、金額が乱高下しないよう、保険料収納率を「辛めに」設定したとして、2

年続けて95%を超えている収納率を94%予定にしたと言います。この1%で、モデル世帯で23千円、保険料が変わってしまいます。

また、前年度決算は剰

(裏面に続く)

### 高すぎる保険料 今こそ引き下げを



(オモテ面の続き)

余金を積み増し、5億円を超える繰越となる見込みです。協議会では委員からも、もっと下げられるのでは、という意見が出されました。

国は、国民の強い声に押され、4月から未就学児にかかる均等割分の半額補助を始めましたが、大津市は、他自治体のような上乗せの軽減もしていません。

物価の高騰やコロナ禍から続く収入減など、低所得者の多い国保加入者の生活は深刻です。いまずぐにでも保険料の引き下げが必要であり、減免制度の創設も含め、引き続き強く求めていきます。

### 市民病院問題

## 市民の命を守る体制へ

### 医療政策の転換を

今年2月、市立大津市民病院の医師が大量退職するという報道があり、市民、患者の不安を招きました。市民病院は、重症のコロナ患者を受け入れる滋賀県唯一の第1種感染症指定病院でもあり、影響は深刻です。

#### おおもとに

#### 政府の医療費削減策

今回の問題の根本には、医師・看護師などを少なく抑え、病床を削減し、医療費を削ろうとする国の医療政策があります。新型コロナウイルスの感染拡大により、その弱さ、貧しさがあらわになり、医療従事者の過重労働、医療にかかれず多数の命が失われることにつながります。

国のように医療政策が継続限り、医師確保の困難は解消されません。国民の命と健康を守る医療体制を確保し充実させる政治の責任が問われています。日本共産党は、今回の参議院選挙でも公約に位置付け取り組んでいます。党市議団も、県や大津市を追及するとともに、市民のみならずとともに、国に「入院ベッドの削減中止」「医療従事者の確保」を求めていきます。

## マイクロ水力発電に取り組む市民を訪問



比良川の上流から細い管で取水して発電し、下流で比良川に戻します

5月10日、党市議団は、大津市北部でマイクロ水力発電に取り組む青木豊明さんを訪ねました。比良川の施設では、流水の1%を取水し、再び川に戻して水を還流させ発電。用水路などに設置できる簡易発電装置も見学させていただきました。

分あります。青木さんも「公共施設などで大いに推進してほしい」と話します。地球温暖化が国際的課題となつてから30年以上、青木さんの設備も06年から発電できるようになっていたと言います。しかし、日本では原発・火力発電にしがみつき、再エネの普及が進まず、大津市の取り組みも遅れています。今年度から市議会にも党市議団が求めた、ゼロカーボン推進の特別委員会が設置されました。導入を加速させるため奮闘します。

こんなに細い水路でも発電が可能

マイクロ水力発電は自然・生活環境への影響が少なく、太陽光の弱点である夜間も発電できます。川が多く水の豊かな大津市では、導入可能性が十



水路で使える簡易発電装置

## 気候危機の打開へ!

## 大津でも急ぎ再エネ拡大を

### 6月市議会 通常会議の日程

6日(月)	議案提案(請願提出×切り12時)	27日(月)	予算常任委員会
14(火)~20(月)	一般質問	28日(火)	特別委員会
21日(火)	予算常任委員会	7月4日(月)	討論・採決
22日(水) 23日(木)	常任委員会		

会場は大津市役所です。インターネットで中継、録画もご覧いただけます。※請願の締め切りは、6日正午です。請願の提出には、紹介議員が必要です。お気軽にご相談ください。

